

平成28年度三者合同会議

平成28年11月21日(月)

午後2時00分開会

開催日時	平成28年11月21日	開会14時00分 閉会16時00分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	社会教育委員の会議		公民館運営審議会
	議 長	原嶋 和男	委 員 長 立川 明
	副 議 長	柴田 彩千子	委 員 國分ひろみ
	委 員	石田 静子	委 員 雨宮 安雄
	委 員	城 瑞枝	委 員 櫻井 章江
	委 員	佐野 郁蔵	委 員 畠山 重信
	委 員	原田 隆司	委 員 菅沼 七三雄
	図書館協議会		委 員 川口 亜子
	会 長	田中 幸夫	
	会長職務代理者	藤森 洋子	
	委 員	鴨下 万亀子	
	委 員	内田 美帆	
	委 員	船崎 尚	
	委 員	吉田 和夫	
	委 員	坂野 勝一	
委 員	中里 成子		

説明のため出席した者の職氏名	生涯学習部長 西田 剛 生涯学習課長 石原 弘一	図書館長 菊池 幸子 公民館長 前島 賢
事務局	生涯学習係長 小堀久美子 生涯学習係主事 小佐野七香	図書館庶務係長 西村 直邦 図書館庶務係主事 山下 将志 公民館庶務係長 牛込 孝子
傍聴者人数	0名	

日程	議 題	
第1	議 題	1 講演 テーマ：社会教育にとっての風土・知 ～地域文化創生の現場から～ 2 質疑応答 3 報告等

原嶋議長

では、再開させていただきます。よろしくお願いします。

これから、その他、連絡事項とあるのですが、先ほど言ったように、まず、それぞれの担当によっては、会議がここのところ開かれていなければ、パスしても構わないのですが、それぞれの活動の報告をお願いしたいと思います。代表者が1人ということで。

あと、この前、科学の祭典をやっていただいて、それぞれ楽しいイベントをやっていただいたので、その取り組みというか、感想も簡単に触れていただければと思います。

その後、関係団体、その他でPRがあれば、1人で数分をお願いしたいのですが、それで今回は終わらせていただきたいと思います。

なお、今回は社会教育担当で、できるだけ皆さんと共通するテーマということにこだわり、あるいは1回目からの順序性を考えました。たまたま柴田先生のほうで、こちらにアプローチしていただいたので助かったところがあります。次の方々にバトンタッチするので、よろしくお願いします。

それでは、私ども社会教育委員のほうから箇条書き的に報告させていただきます。この前お話ししたかもしれませんが、古い話になりますが、第3次の生涯学習計画が4月、策定が終わりました。これは社会教育委員として問われている一番の課題かと思っています。ただ、任期がまたがっているものであるから、前の期の方々が8割やっていただいて、私たちが一、二割でありました。そのつなぎということで、どういうふうになるかというのは難しい面がおりになったのかと思っています。

また、私どもの仕事としては、協議会の諮問に応じるということがありますが、補助金等々の関係団体といった承認もありますが、今回は、計画の策定という大きなものが終わったものだから、私どもも独自にまた勉強しようということで、かなり学校にかかわっていらっしゃる人も多いので、今回のテーマは、ちょっと長いですが、地域の教育力を活用した学校教育への支援のあり方について、そこで小平二中のところでは素晴らしい活躍をしているコーディネーターの話を伺いました。また、小平六小では、運営協議会、いわゆるコミュニティースクールをやっている、実際に協議している場面を見ようというところで勉強をさせていただきました。

我々の課題も、まだ教育委員会の方とお話を、どうしていくのかという展開もあるのですが、来年の9月か10月ごろに任期が終わ

るので、あと一つ、何か工夫してやってみようかということで、相互にこれから課題として検討していく方向です。

以上が社会教育委員会の活動の報告です。簡単ではありますが、終わりにさせていただきます。

図書館のほうで。

田中委員

図書館のほうは、前回の協議会で、図書館長から小金井市の図書館のあり方について、諮問を受けました。今後、小金井市にどのような図書館が必要であるのか、あるいは、その運営、建物については言及ができないのですが、全体のあり方について、今後、検討していくことになっています。

これは、昨今、6施設一緒に建物を立てるという話が最初にあったのですが、そこから派生して、現在では、建物に関しては、ゼロベースでもう一回考え直すという市長のお考えがあって、市議会のほうで答弁されたということを受けたのですが、それにしても、小金井市の図書館のあり方については、長期的な展望が今までないということなので、これに向けて中長期的な小金井市の図書館のあり方について、検討していくと。

皆さんもかかわりのあることであるので、何かこういう図書館があったらいいんじゃないかとか、内容はこういうのがあったほうがいいんじゃないかということについてご意見があれば、ぜひ図書館のほうに寄せていただいて、皆さんの知恵を総合して、小金井市の図書館のあり方について考えていきたいと思っています。

以上です。

原嶋議長

ありがとうございました。次に、立川さん、いいでしょうか。公民館。

立川委員

公民館運営審議会は、図書館と同じように公民館の中長期の計画の策定について、答申を作成中です。

内容的には、公民館が今までどんな役割を果たしてきたかということ、今後、どんな役割を果たしていくべきかということ、それから、公民館の規模、今、本館がなくなっているわけですが、仮の本館ということで、本町分館に仮本館は行っているのですが、部分的に公民館が希薄な部分があるので、地域性とか、配置規模に関して、

まとめているところです。

それから、今後の公民館の運営の方向、一部、北センターと東センターがNPOに今、運営を委託しているところですが、今後、どうあるべきかということと、それから、受益者負担、有料化の問題といったことを今、話し合っています。

以上です。

原嶋議長

図書館さんと公民館さん、それぞれかなり重い諮問をいただいているようで。

それでは、最後に、科学の祭典は事務局の方がいらっしゃるの、厳しいまとめをしていただいて、その前に、それぞれの順番で、原田さんは社会教育委員のほうでは初めて参加してくれたので、感想を伺えればと思います。

原田委員

ありがとうございました。初めて参加しました。

社会教育委員の会では、フレキサゴンという平面の図形を組み立てると、あら、不思議、ぐるぐる自在に回る立体ができるという科学おもちゃです。実際、準備するとき、私は自分でやっても、なかなかできなくて、これは果たして子供たちはできるのだろうかという心配が正直ありました。

それから、科学の祭典と難しそうな名前がついていますが、日曜日にそんなにお客さんが来るのだろうかという心配も私自身はあったのですが、実際、いざ行ってみると、全く私の思い違いで大盛況。午前中は雨で、午後から晴れましたが、4時半に終わるはずがお客さんが帰らない、いっぱいいるので、4時半に片づけられなかったぐらいの盛況でした。

それから、もう一つ、先ほど言った、子供たちはこんなのでできるのだろうかというのも全くの杞憂で、小さい子供を連れてご家族がいらっしゃると、お父さん、お母さんができないのに、3つ、4つの子供がささっとできちゃうというところがあって、こういうのはすごいなと思いました。

ああいう祭典は1年に1度であります、たくさんの小さい子を連れて家族がいて、ほんとうにこれは少子化なのだろうかと思うぐらいにたくさん来て、聞くと、小金井周辺のいろんなところから集まってこられていますが、大変意義のあるものだと思います。来

年以降も、やってみたいと思いました。ありがとうございました。

原嶋議長            ありがとうございます。

田中委員            では内田さん。

内田委員            図書館の内田です。私も今年、初めて参加させていただき、昨年、一昨年は、おすすめの本100冊ということで、展示のみと伺っており、そうすると、科学の祭典は皆さんご家族連れで工作だったり、実験だったりを楽しみにいらっしゃるので、なかなかその場でじっくり本を読んでいただく方がいらっしゃらなくて、せっかくの場が残念だと伺っていたので、今年はひとつ、何かいらっしゃった方が楽しんでいただけるような企画をということで、簡単ではありましたが、来ていただいた方に本のしおりをつくっていただくことにしました。

簡単な紙とかシールとかテープを用意して、その場で、ほんとうに用意されたものをぺたぺたと張るだけであつたので、ほんとうに小さいお子さんから楽しんでいただけて、逆に思わぬ効果だったのですが、小さいお子さんがやっている間、お待ちになっている親御さんが置いてある本を眺めて読んでくださる場面が見られたので、親御さんが本を読んでいただいて、今度、図書館に行ったときに、そういえば、こんなのがあつたとお子さんに読んで、聞かせてあげるというつながりができたのではないかと思ったのです。

いろいろご協力いただいた方、ありがとうございました。紙芝居も、一角でして、3者、ほかの方もいらっしゃる中で、一時的にご協力いただいて、声を張り上げて、読み上げさせていただきましたが、なかなかお聞き苦しいところがあつたかと思いますが、来ていただいたお子さんは楽しんでいただけたので、この辺はまた来年に向けて改善していけるのではないかと考えています。

よろしいでしょうか。ありがとうございました。

原嶋議長            どうもお疲れさまでした。では、公民館はどなたかお願いできますでしょうか。

立川委員            では雨宮さん。

雨宮委員

私が言うのですか。公運審の雨宮です。

『科学の祭典』は、これが科学かというのは難しいと聞いていたのですが、公運審では「吹矢」と「ぶんぶんごま」をやらせていただきました。

私はスポーツ吹矢を日頃しているのですが、今回の吹矢は、本来の吹矢と少し違うのですが、スポーツ吹矢は1メートル20センチ位の長さの筒を使用します。初めての場合は危ないので、委員長が安全な吹矢を考えてくださり、A4の紙を丸めて筒をつくることを子ども達にさせましたが、時間もなく、参加者も多くなり間に合わず、公運審のメンバーが作成し、矢は私が持参したものをその都度消毒をして使用しました。

1人5本ずつ的に当てました。終了後、的に当たった矢を数えてみましたら、100人以上の子ども達に参加していただいたと思います。

安全にでき、みんな楽しく作って吹いていただいたと思います。子ども達が喜んでくれたことが私としては嬉しかったです。まだやりたい人もいたし、なかなか飛ばない人もいたし、それが本当に科学的なのかと思うと説明が難しいのですが、胸式と腹式の呼吸法、集中力や一連の動作で的に的中。今回の出し物は『科学の祭典』に適していたと思いました。

どうも今日はありがとうございました。

原嶋議長

ありがとうございました。では、石田さん、高い見地から、短い時間で申しわけないですがお願いします。

石田委員

高い見地からではないが、実は、ソロプチミストという母体から、こちらの会に出ており、ソロプチミストが事務局をずっと担わせていただいている関係で、私も事務局に昨年、今年と入っており、7,550名ぐらいが来場していただいたのではないかとことです。

そして、ブースは104ブース。昨年より4ブースぐらい多くなっているのです。そして、皆さんそれぞれにいろんな実験を持ち寄っていただき、公民館の吹き矢も最初から、今年で11回であります。11回のボランティアで安全管理という、科学の理科の先生

を中心とした先生方が安全管理を担い、当日、グリーンのシャツを着て、五、六人でぐるぐる動いていたと思いますが、危険を察知する、それから、子供たちに不穏な人たちが来ないようにとか、会場を見回る役目をしているです。それで、吹き矢は危険だからということでも申し訳ありませんでした。

雨宮委員           いいえ。

石田委員           別のことにさせていただいた。ということで、来年の日付が、今年、子供たちが中間考査の前の日曜日に当たったために、いつもは70名から100名近い中高生のボランティアがいるが、26名であったので、多摩科学技術高校もボランティアとして、授業として参加してくれているのですが、公式試合が重なったために少なく、ボランティアができなかったということがあり、今、学芸大に9月後半の日程がとれないかと交渉しているのですが、まだ結果が出ないので、皆さんに公表できないところです。またそのうち、実行委員会を12月にもち、それまでには決定できると思いますが、また来年よろしくお願いします。こんなことでよろしいでしょうか。

原嶋議長           ありがとうございます。ぜひお願いしたいと思います。  
それでは、ほかにとということで、プリントが、みんなの学校があるので。

内田委員           たびたび申し訳ありません。私は今、一小と二中のほうでPTAにかかわっている関係でご紹介したいと思います。

一小のほうでは、12月3日の土曜日にみんなの学校という上映を行う。昨年、市民ホールで市民団体のほうが上映して、非常に好評で、公立中学校の教育の取り組み、全ての子供に平等にとということで、支援の必要な子もそうでない子も同じく過ごせる学校ということで、非常に興味深い内容だと思うので、ぜひよろしければご参加いただきたいと思います。

もう一つ、裏面ですが、こちらは思春期子育て講座、中学生の気持ちと本音ということで、中学生の微妙な思春期の様子について、元養護教諭の先生にお話しいただくのですが、実は、この先生は昨年の公民館の子供の人権講座でお越しいただいた先生であります

が、私は参加させていただいて非常によかったので、ぜひ現場の保護者に聞いていただきたいと思って、このたび企画いたしました。

地域の方にも、どなたでもご参加いただけるので、当日、どちらでも直接お越しいただけるので、興味ある方、また、もしくは、周りの方でご興味がありそうな方があったら、ぜひお誘いあわせいただきたいと思うので、どうぞよろしくをお願いします。

今日は、お時間ありがとうございました。

原嶋議長           ほかにありますか。どうぞ。

石原生涯学習課長   資料の取り扱いですが、コンフィデンシャルと書いてあるので、一応皆さん限りということで講師の先生が配っていただいたようなので、お取り扱いにご配慮いただければと思います。以上です。

原嶋議長           取扱注意ということで、よろしくをお願いします。ほかにありますか。あと、よろしいでしょうか。

長きにわたって展開しましたが、今日はほんとうにお疲れさまでした。また今後ともよろしくをお願いします。本日は終わります。ありがとうございました。